



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月27日

上場会社名 株式会社SRAホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3817 URL https://www.sra-hd.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鹿島 亨
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部財務・経理部長 (氏名) 小林 俊昭 TEL 03-5979-2666
 定時株主総会開催予定日 2020年6月24日 配当支払開始予定日 2020年6月9日
 有価証券報告書提出予定日 2020年7月8日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	43,642	7.0	4,948	21.3	4,951	10.8	△612	—
2019年3月期	40,793	3.5	4,078	△2.3	4,469	△6.2	2,023	△1.8

(注) 包括利益 2020年3月期 51百万円 (△95.9%) 2019年3月期 1,257百万円 (△54.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	△49.68	—	△3.0	13.8	11.3
2019年3月期	164.14	164.08	9.5	12.0	10.0

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 △118百万円 2019年3月期 10百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	34,934	20,052	57.4	1,624.61
2019年3月期	36,852	21,375	57.9	1,730.60

(参考) 自己資本 2020年3月期 20,042百万円 2019年3月期 21,349百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	3,392	△619	△1,371	5,370
2019年3月期	4,361	△4,953	△2,405	3,997

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	40.00	—	70.00	110.00	1,357	67.0	6.3
2020年3月期	—	40.00	—	70.00	110.00	1,357	—	6.6
2021年3月期(予想)	—	40.00	—	70.00	110.00		43.1	

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,700	△2.2	4,500	△9.1	4,500	△9.1	3,150	—	255.34

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期を合理的に見積もることができないため、確度の高い業績予想を算出することは難しく、現時点で想定できる影響額のみを踏まえたものとなっております。今後の新型コロナウイルス感染症の収束状況により、業績予想を変更する可能性があります。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2020年3月期	15,240,000株	2019年3月期	15,240,000株
2020年3月期	2,903,279株	2019年3月期	2,903,279株
2020年3月期	12,336,721株	2019年3月期	12,329,806株

(参考) 個別業績の概要

2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	2,592	53.1	2,243	56.6	2,227	57.2	2,172	68.7
2019年3月期	1,693	△15.1	1,432	△16.8	1,416	△16.7	1,288	△21.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	160.63	—
2019年3月期	95.27	95.24

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	8,926	8,621	96.5	636.59
2019年3月期	8,846	7,986	90.0	588.53

(参考) 自己資本 2020年3月期 8,611百万円 2019年3月期 7,960百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページをご覧ください。
- ・決算補足説明資料は、当社ホームページに速やかに掲載します。また決算説明資料についても、6月3日に当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(当連結累計期間における重要な子会社の異動)	13
(表示方法の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
(追加情報)	16
4. その他	17
生産、受注及び販売の状況	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2019年4月1日から2020年3月31日まで)におけるわが国経済は、輸出が弱含み、企業収益も製造業を中心に弱含みが見られるなか、設備投資が緩やかな増加傾向となり、景気は概ね緩やかな回復基調にありました。しかし、3月に入り、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響により、景気は足下で大幅に下押しされ、厳しい状況となりました。

当社グループにおきましては、当連結会計年度(2019年4月1日から2020年3月31日まで)を中期経営計画(2020年3月期～2022年3月期)の成長戦略(ビジネスモデルの変革、グローバルビジネスの拡大、DXへの対応)を推進するための「基盤づくりの年」と位置付け、様々な施策に取り組みました。開発事業においては顧客企業との協業による「価値」提供ビジネスを開始し、運用・構築事業、販売事業では高付加価値モデルへのシフトが進み、それが実績として表われるようにもなりました。また、アジア地域におけるDX関連急成長企業との協業に向けた検討も具体化してまいりました。さらに、DXを支えるAI、クラウド、ビッグデータ/アナリティクス、セキュリティ、さらにその総合技術であるIoTなどの先進技術と、当社グループが長年培ってきた基礎技術を組み合わせ、複数の業界においてDX関連ビジネスをスタートさせることができました。なお、国内及び海外における新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けている施策については、その動向を注視しつつ新たな変化と捉えて慎重に実行計画の見直しを行っております。

以上の結果、当連結会計年度の連結業績につきましては、次のとおりとなりました。

売上高につきましては、開発事業がほぼ横ばいとなったものの、運用・構築事業及び販売事業が増加した結果、43,642百万円(前連結会計年度比7.0%増)となりました。損益面におきましては、売上総利益が増益となり、販売管理費の効率化にも努めた結果、営業利益が4,948百万円(前連結会計年度比21.3%増)となり、経常利益も4,951百万円(前連結会計年度比10.8%増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益(以下「当期純利益」)は特別損失(投資有価証券評価損及び減損損失等)の計上等により、612百万円の損失(前年度は2,023百万円の親会社株主に帰属する当期純利益)となりました。

また、通期の業績予想に対しましては、売上高が予想値を上回り、営業利益と経常利益も予想値を上回りましたが、当期純利益が予想値を下回る結果となりました。

なお、当期の配当につきましては、営業利益及び経常利益が通期業績予想を上回る結果となり、今回の損失がキャッシュアウトを伴わないことから、株主還元のためのさらなる充実を図ることを目的に、期末配当金を1株当たり70円(普通配当)とし、年間配当金を110円(普通配当110円)といたします。

◎連結業績の推移

(単位：百万円)

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	
					直近業績公表値 2020年 2月6日公表	実績
売上高	39,155	39,142	39,410	40,793	41,700	43,642
営業利益	3,736	4,180	4,175	4,078	4,500	4,948
経常利益	3,850	4,211	4,762	4,469	4,600	4,951
親会社株主に 帰属する当期 純利益又は親会社 株主に帰属する当 期純損失(△)	463	2,646	2,060	2,023	1,453	△612

当連結会計年度の事業別の営業の状況は以下のとおりです。

●開発事業

開発事業は、大学関連及びサービス他が増加したものの製造業向けが減少した結果、当事業の売上高は22,104百万円(前連結会計年度比0.0%減)となりました。

●運用・構築事業

運用・構築事業は、企業向け及び大学関連がいずれも増加し、当事業の売上高は5,292百万円(前連結会計年度比6.1%増)となりました。

●販売事業

販売事業は、株式会社A I Tの機器販売が大きく増加し、株式会社S R A及び海外子会社の機器販売も増加した結果、当事業の売上高は16,245百万円(前連結会計年度比18.6%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は34,934百万円(前連結会計年度末比5.2%減)、負債合計は14,881百万円(同3.8%減)、純資産合計は20,052百万円(同6.2%減)となりました。前連結会計年度末と比べ増減した主な内容は、次のとおりです。

(資産合計)

受取手形及び売掛金が451百万円増加し7,406百万円、未収入金が306百万円増加し3,121百万円となりました。一方、投資有価証券が2,115百万円減少し8,530百万円、無形固定資産がソフトウェアの減損損失を計上したことにより1,171百万円減少し372百万円となりました。

(負債合計)

買掛金が366百万円増加し3,987百万円となりました。一方、未払法人税等が580百万円減少し548百万円、未払費用が223百万円減少し895百万円となりました。

(純資産合計)

その他有価証券評価差額金が639百万円増加し715百万円となりました。一方、利益剰余金が1,969百万円減少し16,063百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,373百万円増加し、5,370百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、3,392百万円(前連結会計年度末は4,361百万円の獲得)となりました。

これは、主に投資有価証券評価損益3,958百万円、減損損失1,039百万円のプラス要因と、法人税等の支払額1,683百万円のマイナス要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、619百万円(同4,953百万円の使用)となりました。

これは、主に定期預金の払戻による収入1,324百万円のプラス要因と、投資有価証券の取得による支出1,064百万円、無形固定資産の取得による支出509百万円のマイナス要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1,371百万円(同2,405百万円の使用)となりました。

これは、主に配当金の支払1,357百万円のマイナス要因によるものであります。

キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率(%)	56.6	57.9	57.4
時価ベースの自己資本比率(%)	99.6	82.5	75.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	0.5	—	0.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	67.0	206.0	1,018.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

当社グループは、中期経営計画(2020年3月期～2022年3月期)に基づき、企業価値の向上並びに株主還元の更なる充実を目指し、既存事業の基盤強化を図ると共に、新規事業も強力に推進し、①持続的な成長 ②収益性の向上 ③株主還元の更なる充実に向け、取り組んでおります。

◎参考：中期経営計画の策定に関するお知らせ(2019年5月9日発表)

https://www.sra-hd.co.jp/ir/manage_policy.html

2020年3月以降は新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外の景気は急速に悪化しており、製造業をはじめ各業界は極めて厳しい状況にあります。企業収益も感染症の影響により急速に減少しており、先行きについては、世界的な感染拡大の影響により、極めて厳しい状況が続くと見込まれております。また、感染症が国内外の経済をさらに下振れさせることも懸念されております。

当社グループにおきましても製造業向けのビジネスの割合が高いこともあり、今後、新型コロナウイルス感染症の影響を少なからず受けるものと認識しております。

そのような状況を踏まえ、2021年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高42,700百万円、営業利益4,500百万円、経常利益4,500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3,150百万円を予想しております。次期の配当につきましては、1株当たり配当金を110円(普通配当110円：中間配当40円、期末配当70円)と計画しており、この配当を実施した場合の配当性向は43.1%の見込みです。これからも株主還元の一層の充実を図るといふ方針のもとに、従来通り配当性向50%を目途に、安定的な高配当を目指してまいります。

なお、2021年3月期の連結業績見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期を合理的に見積もることができないため、確度の高い業績予想を算出することは難しく、現時点で想定できる影響額のみを踏まえたものとなっております。今後の新型コロナウイルス感染症の収束状況により、業績予想を変更する可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

将来における国際会計基準の適用に備え、社内のマニュアルや指針等の整備及びその適用時期について検討を進めております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,121	5,489
受取手形及び売掛金	6,955	7,406
有価証券	95	64
商品及び製品	1,103	1,176
仕掛品	957	980
短期貸付金	2,935	3,160
未収入金	2,814	3,121
その他	622	649
貸倒引当金	△16	△11
流動資産合計	20,589	22,036
固定資産		
有形固定資産		
建物	432	405
減価償却累計額	△289	△280
建物(純額)	142	124
機械装置及び運搬具	547	579
減価償却累計額	△505	△533
機械装置及び運搬具(純額)	41	45
その他	164	163
減価償却累計額	△101	△116
その他(純額)	63	46
有形固定資産合計	247	217
無形固定資産		
その他	1,543	372
無形固定資産合計	1,543	372
投資その他の資産		
投資有価証券	10,645	8,530
長期貸付金	1,144	852
繰延税金資産	2,059	2,171
差入保証金	383	410
退職給付に係る資産	47	50
その他	218	320
貸倒引当金	△9	△8
投資損失引当金	△17	△18
投資その他の資産合計	14,471	12,308
固定資産合計	16,263	12,898
資産合計	36,852	34,934

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,621	3,987
短期借入金	198	198
未払費用	1,119	895
未払法人税等	1,129	548
未払消費税等	537	629
前受金	3,448	3,289
賞与引当金	565	546
役員賞与引当金	75	23
工事損失引当金	340	330
その他	313	148
流動負債合計	11,349	10,599
固定負債		
繰延税金負債	9	40
退職給付に係る負債	3,926	4,018
役員退職慰労引当金	182	218
その他	10	5
固定負債合計	4,128	4,282
負債合計	15,477	14,881
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	4,704	4,702
利益剰余金	18,033	16,063
自己株式	△2,402	△2,402
株主資本合計	21,335	19,363
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	76	715
為替換算調整勘定	219	218
退職給付に係る調整累計額	△282	△256
その他の包括利益累計額合計	14	678
新株予約権	25	10
純資産合計	21,375	20,052
負債純資産合計	36,852	34,934

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	40,793	43,642
売上原価	31,707	34,053
売上総利益	9,086	9,588
販売費及び一般管理費	5,007	4,639
営業利益	4,078	4,948
営業外収益		
受取利息	148	201
受取配当金	48	92
為替差益	200	—
その他	46	54
営業外収益合計	444	348
営業外費用		
支払利息	22	6
為替差損	—	176
証券代行事務手数料	15	15
持分法による投資損失	—	118
支払手数料	7	13
その他	7	15
営業外費用合計	53	344
経常利益	4,469	4,951
特別利益		
投資有価証券売却益	479	35
投資有価証券評価戻入益	13	7
新株予約権戻入益	54	25
その他	1	—
特別利益合計	549	68
特別損失		
減損損失	—	1,039
投資有価証券評価損	542	3,958
貸倒引当金繰入額	406	—
その他	20	35
特別損失合計	968	5,033
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	4,050	△13
法人税、住民税及び事業税	1,646	970
法人税等調整額	379	△370
法人税等合計	2,026	599
当期純利益又は当期純損失(△)	2,023	△612
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	2,023	△612

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	2,023	△612
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△578	639
為替換算調整勘定	△155	△1
退職給付に係る調整額	37	25
持分法適用会社に対する持分相当額	△70	—
その他の包括利益合計	△766	664
包括利益	1,257	51
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,257	51
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000	4,671	17,364	△2,437	20,598
当期変動額					
剰余金の配当			△1,354		△1,354
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社 株主に帰属する当期純 損失(△)			2,023		2,023
連結子会社の増資によ る持分の増減		5			5
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		28		35	63
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	33	669	34	736
当期末残高	1,000	4,704	18,033	△2,402	21,335

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	654	445	△319	780	59	21,438
当期変動額						
剰余金の配当				-		△1,354
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社 株主に帰属する当期純 損失(△)				-		2,023
連結子会社の増資によ る持分の増減				-		5
自己株式の取得				-		△0
自己株式の処分				-		63
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△578	△226	37	△766	△33	△800
当期変動額合計	△578	△226	37	△766	△33	△63
当期末残高	76	219	△282	14	25	21,375

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000	4,704	18,033	△2,402	21,335
当期変動額					
剰余金の配当			△1,357		△1,357
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社 株主に帰属する当期純 損失(△)			△612		△612
自己株式の処分		△1			△1
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	△1	△1,969	-	△1,971
当期末残高	1,000	4,702	16,063	△2,402	19,363

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	76	219	△282	14	25	21,375
当期変動額						
剰余金の配当				-		△1,357
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社 株主に帰属する当期純 損失(△)				-		△612
自己株式の処分				-		△1
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	639	△1	25	664	△14	649
当期変動額合計	639	△1	25	664	△14	△1,322
当期末残高	715	218	△256	678	10	20,052

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	4,050	△13
減価償却費	512	466
減損損失	—	1,039
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△208	91
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	17	36
賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	△18
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	25	△52
貸倒引当金の増減額(△は減少)	14	△4
投資損失引当金の増減額(△は減少)	△1	0
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△440	△9
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	△1,198	—
受取利息及び受取配当金	△197	△293
支払利息	22	6
支払手数料	7	13
為替差損益(△は益)	△200	176
持分法による投資損益(△は益)	△10	118
投資有価証券評価損益(△は益)	542	3,958
投資有価証券売却損益(△は益)	△479	△35
固定資産除却損	2	34
売上債権の増減額(△は増加)	35	△463
たな卸資産の増減額(△は増加)	207	△90
仕入債務の増減額(△は減少)	625	377
その他の流動資産の増減額(△は増加)	1,409	△174
その他の負債の増減額(△は減少)	681	△533
未払消費税等の増減額(△は減少)	31	92
その他	△23	79
小計	5,425	4,801
利息及び配当金の受取額	163	278
利息の支払額	△21	△3
法人税等の支払額	△1,206	△1,683
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,361	3,392
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△60	△64
無形固定資産の取得による支出	△269	△509
投資有価証券の取得による支出	△2,288	△1,064
投資有価証券の売却による収入	110	86
関係会社株式の取得による支出	△92	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△35	—
貸付けによる支出	△1,887	△188
貸付金の回収による収入	55	157
定期預金の預入による支出	△531	△312
定期預金の払戻による収入	45	1,324
差入保証金の差入による支出	△0	△27
差入保証金の回収による収入	0	0
その他	△0	△23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,953	△619

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,109	—
非支配株主からの払込みによる収入	5	—
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△1,354	△1,357
ストックオプションの行使による収入	58	—
支払手数料の支払額	△4	△11
その他	0	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,405	△1,371
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23	△27
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,021	1,373
現金及び現金同等物の期首残高	7,018	3,997
現金及び現金同等物の期末残高	3,997	5,370

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、「開発事業」、「運用・構築事業」及び「販売事業」の3事業を含む事業会社である子会社を統括管理しております。したがって、当社グループは、「開発事業」、「運用・構築事業」及び「販売事業」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの内容は、次のとおりであります。

- | | |
|---------|---|
| 開発事業 | <ul style="list-style-type: none"> ○メインフレーム系大規模システムでの要求定義から開発・保守にいたる一貫したシステム開発 ○オープン系システムのシステム企画、開発、導入までのシステムインテグレーション ○ツールやプロダクトを活かしたビジネスツールとして提供するソリューションビジネス ○オープンソースソフトウェアによるシステム技術サポートを行うオープンソースビジネス |
| 運用・構築事業 | <ul style="list-style-type: none"> ○コンピュータシステム及びネットワークシステムの運用管理 ○データ管理、設備管理を含むオペレーション全般 ○ネットワークシステム構築 ○アウトソーシングサービス |
| 販売事業 | <ul style="list-style-type: none"> ○ライセンスを含めたパッケージソフト販売 ○インテグレーションサービスにおけるサーバーを中心とするシステム機器販売 ○IT導入に関するコンサルティング・サービス |

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

たな卸資産の評価については、簿価切下げ前の価額で評価しております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
 前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	開発事業	運用・構築 事業	販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,106	4,988	13,698	40,793	—	40,793
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	210	246	467	△467	—
計	22,118	5,198	13,944	41,261	△467	40,793
セグメント利益	3,909	1,254	370	5,534	△1,455	4,078
セグメント資産	8,973	1,486	6,697	17,157	19,695	36,852
その他の項目(注) 2						
減価償却費	50	9	451	511	0	512
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	74	22	254	351	—	351

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,455百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額19,695百万円には、セグメント間消去△295百万円と、各報告セグメントに配分していない全社資産19,990百万円が含まれております。全社資産の内容は当社グループの余資運用資金(現金及び預金、有価証券)、短期貸付金、長期投資資金(投資有価証券及び長期貸付金)及び繰延税金資産であります。
2. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の償却額及び増加額がそれぞれ含まれております。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	開発事業	運用・構築 事業	販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,104	5,292	16,245	43,642	—	43,642
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	239	147	398	△398	—
計	22,116	5,531	16,392	44,040	△398	43,642
セグメント利益	3,840	1,425	1,020	6,287	△1,338	4,948
セグメント資産	9,738	1,601	5,317	16,657	18,277	34,934
その他の項目(注) 2						
減価償却費	48	9	407	465	0	466
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	69	21	458	548	1	550

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,338百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
- (2) セグメント資産の調整額18,277百万円には、セグメント間消去△289百万円と、各報告セグメントに配分していない全社資産18,566百万円が含まれております。全社資産の内容は当社グループの余資運用資金(現金及び預金、有価証券)、短期貸付金、長期投資資金(投資有価証券及び長期貸付金)及び繰延税金資産であります。
2. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の償却額及び増加額がそれぞれ含まれております。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
1株当たり純資産額	1,730.60円	1株当たり純資産額	1,624.61円
1株当たり当期純利益	164.14円	1株当たり当期純損失(△)	△49.68円
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	164.08円	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	－円

(注) 1株当たり当期純利益又は当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (百万円)	2,023	△612
普通株主に帰属しない金額(百万円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (百万円)	2,023	△612
期中平均株式数(千株)	12,329	12,336
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	－	－
普通株式増加数(千株)	4	－
(うち新株予約権(千株))	(4)	(－)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式 の概要	第16回 新株予約権 147,000株	第17回 新株予約権 154,000株

(注) 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(追加情報)

損害賠償請求の訴訟提起について

当社子会社 株式会社SRA(以下、「SRA」という。)は、三幸エステート株式会社(以下、「三幸エステート」という。)に対して、2015年8月25日、損害賠償請求の訴訟を提起しております。これに対して、2015年10月6日、三幸エステートはSRAを相手取って東京地方裁判所に訴訟を提起しております。また、現在係争中であり、本訴訟の進捗に応じて必要な開示すべき事項が発生した場合は、速やかにお知らせいたします。

4. その他

生産、仕入、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当連結会計年度の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	前連結会計年度比 (%)
開発事業 (百万円)	22,391	4.5
運用・構築事業 (百万円)	5,273	5.9
合計 (百万円)	27,664	4.8

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

(2) 仕入実績

当連結会計年度の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	前連結会計年度比 (%)
販売事業 (百万円)	9,487	18.2
合計 (百万円)	9,487	18.2

- (注) 1. 金額は仕入価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

(3) 受注状況

当連結会計年度の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前連結会計年度比 (%)	受注残高 (百万円)	前連結会計年度比 (%)
開発事業	22,186	4.1	4,103	2.0
運用・構築事業	5,512	10.0	2,432	10.0
販売事業	16,481	16.9	4,223	5.9
合計	44,181	9.3	10,758	5.3

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

(4) 販売実績

当連結会計年度の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	前連結会計年度比 (%)
開発事業(百万円)	22,104	△0.0
運用・構築事業(百万円)	5,292	6.1
販売事業(百万円)	16,245	18.6
合計(百万円)	43,642	7.0

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

以 上